

石材に発生する錆(さび)について

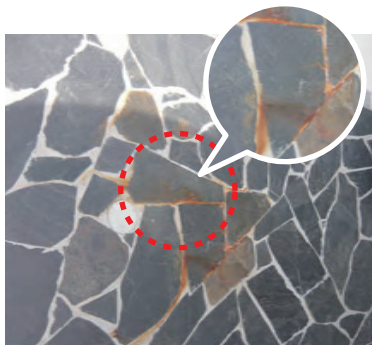
錆び発生のメカニズム

石材は生成過程の中で鉄分を含んで生成されます。同じ石材でも採掘する部位により鉄分の含有率が違うため、錆が出る物と出ない物があります。元来“錆”とは鉄分が水分と空気に触れる事で酸化加工物に変化し起こる化学変化の総称です。

錆びへの対応とメンテナンス

発生してしまった錆は薬品で落とすしかありません。石材の色抜けを防ぐため、中性系の薬剤をお薦めしています。中性系の薬剤は、時間をかけて中和させ、錆を除去するため、時間が掛かってしまうのが難点です。しかし、石材を傷める心配がないので、安心してご使用頂けます。

錆落としの手順



1 施術部(錆の発生箇所)を確認し、施工前に表面のゴミや汚れ等を取り除く。

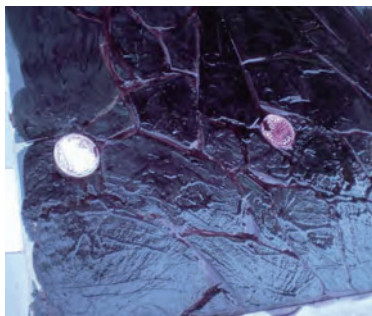


2 錆の発生箇所に薬剤(トールレス)をハケ等で塗布する。



3 薬剤が錆に反応し紫色に変色している事を確認する。

※この薬剤は、中性系の為、錆が落ち切る迄に時間がかかります。特に石材内部から発生している状態であれば薬剤をしっかり石材内部に浸透させてください。



4 薬剤をたっぷり塗布する。



5 薬剤が乾燥しない様にラップ等を被せ、2~3時間放置する。



6 綺麗な水(水道水)で、タワシなどを使い擦りながら薬剤を洗い流す。



7 薬剤が残っている箇所や、錆が残っている箇所は、ブラシなどで擦りながら洗浄する。



8 水洗い洗浄後、錆や汚れが落ちているか確認する。(表面の水分を取り除いてからの方が、確認しやすい)

なお、表面が乾燥した状態で薬剤(トールレス)の成分が残っていると石材の表面に紫色のモヤの様な皮膜が残る場合があります。水洗いで落とし切れない場合は、石材用洗浄液(アクロンAB)にて洗浄してください。

錆が1度で落ち切らない場合は、①~⑦を2、3回繰り返し作業を行ってください。